

第14回 千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第14回 天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第14回 日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第14回鳥取県東部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
第17回鳥取県中部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
第13回鳥取県西部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
〔同時開催〕

説明資料

日 時: 令和7年6月3日(火)午後2時00分～

場 所: 中部総合事務所1号館2階講堂(一部オンライン会議併用)

次 第

1. 開会

2. 議事

(1) 規約改正について

(2) 令和7年出水期の天候の見込みについて

(3) 令和6年度・令和7年度の減災に係る取組について

(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて

- ・各機関の取組について

(5) 情報提供

3. 閉会

(1)規約改正等について

(1)規約改正等について

規約の主な改正点

- 組織改編等による協議会・幹事会構成員の役職変更

①協議会オブザーバー 農林水産省の役職付けから機関名へ変更

県

※中国四国農政局 農村振興部 洪水調節機能強化対策官→中国四国農政局

②幹事会オブザーバー 農林水産省の役職付けから機関名へ変更

県

※中国四国農政局 農村振興部 設計課 事業計画管理官
→中国四国農政局 農村振興部

③幹事会構成員 米子市の組織改編による役職名変更

県

※下水道企画課長→上下水道局 副局長

(2) 令和7年出水期の天候の見通しについて

気象台資料を用いて説明

大規模氾濫時の減災対策協議会
及び
各地区流域治水及び減災対策協議会

令和7年度出水期の天候の見通し
(5月20日発表の3か月予報)

鳥取地方気象台
令和7年6月3日

6月～8月の天候見通し

中国地方（山口県を除く） 3か月予報（06月～08月）

2025年05月20日14時00分 広島地方気象台 発表

06月～08月	気温	平均気温は、高い確率60%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
06月	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率60%です。
07月	天候	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
08月	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。

気温、降水量の各階級の確率（%）

気温	中国地方	06月～08月	10	30	60
		06月	10	30	60
		07月	20	30	50
		08月	20	30	50
降水量	中国地方	06月～08月	20	40	40
		06月	30	30	40
		07月	30	30	40
		08月	30	30	40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

次回発表予定等

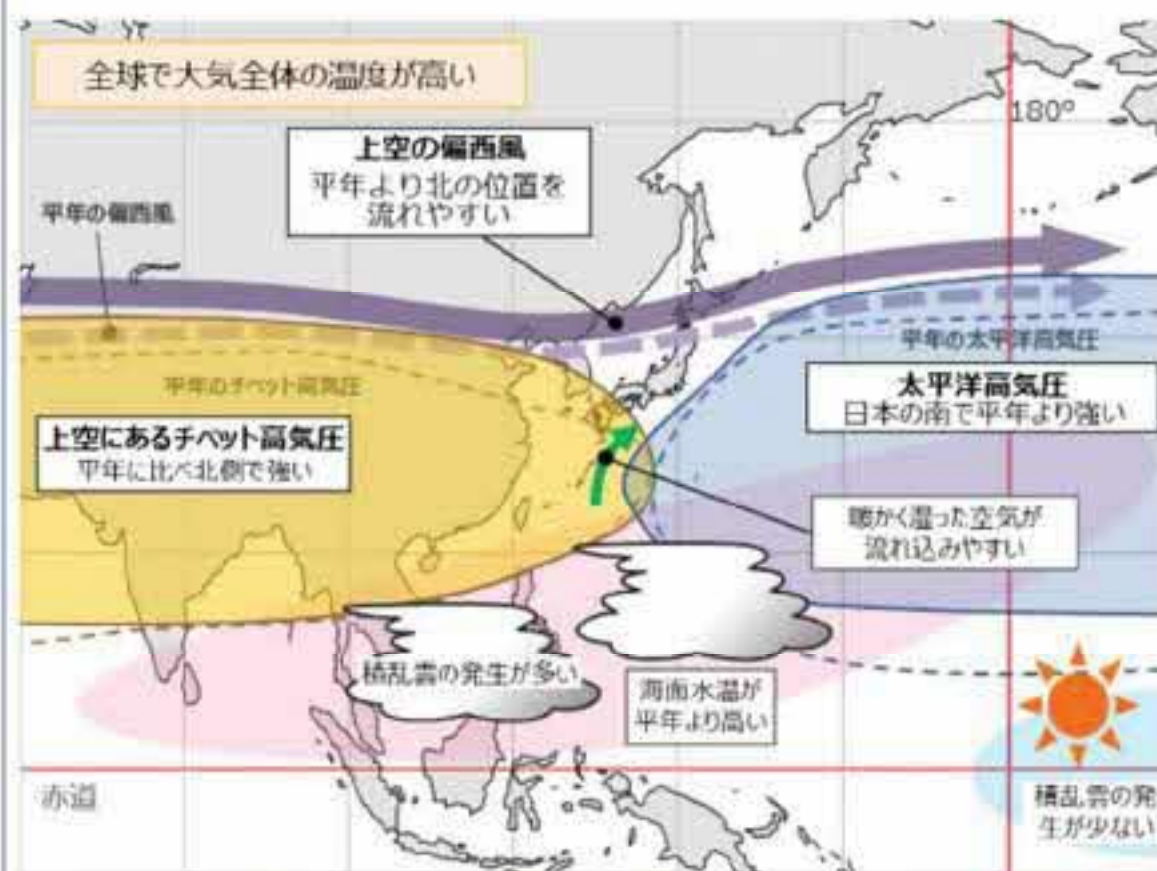
次回は2025年06月24日(火)14時00分に発表予定

なお、6月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。 また、暖候期予報として発表していたこの夏（6～8月）の予報については、今回の3か月予報等最新の予報をご利用ください。

予想される海洋と大気の特徴

中国地方3か月予報（令和7年5月20日発表）の解説資料より

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いくでしょう。
- 太平洋熱帯域の海面水温は中部で低く、西部で高い状態が続くでしょう。また、インド洋熱帯域からフィリピンの東方海上にかけて海面水温が高いくでしょう。このため、積乱雲の発生はベンガル湾からフィリピンの東にかけて多くいくでしょう。
- これらの影響により、上空の偏西風はユーラシア大陸から日本付近にかけて平年より北の位置を流れやすく、チベット高気圧は平年に比べ北側で強いくでしょう。また、太平洋高気圧は平年に比べ日本の南で西への張り出しが強く、本州付近を中心に暖かく湿った空気が流れ込みやすいくでしょう。
- これらのことから、日本付近は暖かい空気に覆われやすいくでしょう。また、本州付近を中心に、梅雨前線の活動が活発となる時期があるでしょう。



数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴

[中国地方の梅雨]

平 年	入 り	6月6日ごろ	明 け	7月19日ごろ
令和6年	入 り	6月20日ごろ	明 け	7月21日ごろ

注）梅雨入り・明けは、一般に数日程度の幅を持つ現象（〇〇日ごろと表現）。

梅雨入り・明け（速報値） https://www.data.jma.go.jp/cpd/baiu/sokuhou_baiu.html

(3) 令和6年度・令和7年度の減災に係る取組について

第3期の取組方針策定に向けた今年度の予定

国土交通省 中国地方整備局
鳥取河川国道事務所

第2期の取りまとめ・第3期の取組策定の検討材料

- 第2期の取りまとめ、および第3期の取組策定に向けて、下表の資料①～③の作成をお願いいたします。
- 資料②③の作成にあたり、事務局で新たに実施する④到達レベルに応じた質的評価、⑤住民目線による取組効果の現状評価の資料もご活用いただけるよう、準備を進めてまいります。

資料	協議会構成員の皆様にご作成をお願いしたい資料			事務局作成資料	
	資料①	資料②	資料③	資料④	資料⑤
資料	各取組項目の進捗管理表 (令和6年度の取組)	第3期の策定に向けた各取組項目の整理表	第2期の取組に関する取りまとめ資料	到達レベルに応じた質的評価	住民を対象とした水防災意識アンケート調査
目的	毎年の取組進捗状況の調査	第3期の策定に向けた、各機関の現状と目標の整理	第2期の取組状況の振り返り、および共有	本質的な成果の取りまとめ	住民目線による取組効果の現状評価
内容	令和6年度時点における実施状況と、実施内容を記入	- 担当部署 - 第2期の実施事項と令和7年度末時点の見通し - 第3期に実施する項目を記入 ※資料④⑤も活用	第2期の各取組項目の実施状況をPPT1枚ずつにまとめる ※資料④⑤も活用	進捗管理表や会議資料から第1期、第2期の取組実績を整理し、取組状況を5段階の到達レベルで質的評価を行う	浸水想定区域内の住民に対し、水防災意識のアンケート調査を実施する
期限	令和7年6月	令和7年10月 (意見交換会②)	令和7年10月 (意見交換会②)	令和7年7月末(仮) 意見交換会①で提示 ※②③の取りまとめの材料とする	令和7年7月末(仮)
状況	※今後関係機関に依頼予定	※令和6年12月の担当者会議で関係機関に依頼済	※令和6年12月の担当者会議で関係機関に依頼済	※今後実施予定 (令和7年6月～7月)	※今後実施予定 (令和7年6月～7月)

第2期の取りまとめ・第3期の取組策定に向けた検討ステップ

協議会構成員の皆様の実施事項

Step0: 令和6年度の取組に対する自己評価

資料①: 各取組項目の進捗管理表(令和6年度の取組)

Step1-1: 第2期の取組に対する自己評価

資料②: 第3期の策定に向けた各取組項目の整理表
資料③: 第2期の取組に関する取りまとめ資料

客観的評価を
②③に反映

事務局実施事項

Step1-2: 事務局・住民による客観的な評価

資料④: 到達レベルに応じた質的評価
資料⑤: 住民を対象とした水防災意識アンケート調査

Step1-3: 関連計画の調査

県や市の総合計画や国土強靱化計画等、各種関連計画の目標を調査し、具体目標の参考とする。

共同実施事項

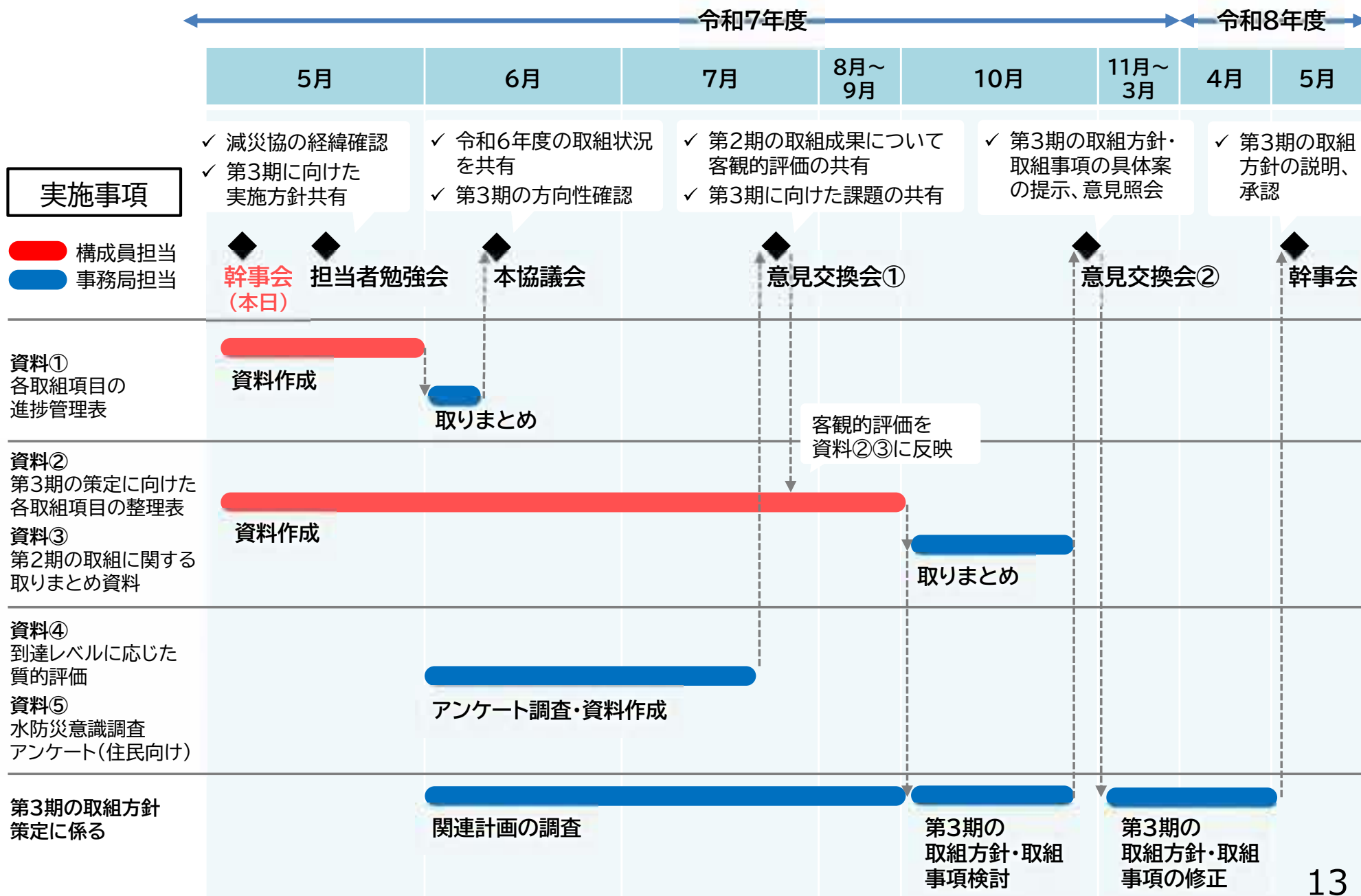
Step2: 現時点における課題抽出

第2期の取組評価と目標の差を分析し、課題を抽出する

Step3: 第3期の具体目標の設定

第2期までの取組項目の継続性を確保しつつ、抽出した課題を解決する次期取組項目を設定し、関連計画との整合性も図りながら、具体目標を設定する。

第2期の取りまとめ・第3期の取組策定に向けたスケジュール

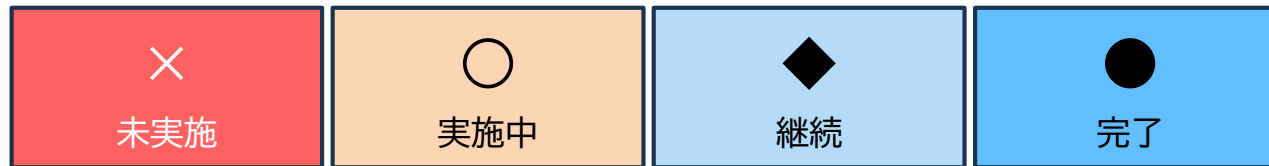


資料④到達レベルに応じた質的評価による取組評価

第2期の取組を質的に評価することで、第2期の取りまとめと、第3期の取組の継続・完了・新規取組策定の判断に活用します。

現在のフォローアップ調査形式

取組状況を以下の4段階で評価している。



課題

- 目標に対する実施状況が確認できず、課題の把握ができていない。(例:「未実施」の取組項目がなぜ未実施なのか分からない)
- 継続・完了している取組の中で、取組深度化を図っている好事例が埋もれてしまっている可能性がある。

質的評価

「未実施」のレベルを2段階、「実施中」のレベルを2段階に分け、「継続」「完了」の意味を再定義することで、正確に評価する。

「×未実施」のレベルをさらに2段階へ

「○継続中」のレベルをさらに2段階へ

「◆継続」「●完了」の定義を見直し



- 流域内の取組状況の正確性が向上するとともに、目標と取組の現在値を評価することで、第3期における取組の継続・完了・新規取組策定の判断につながる。

資料⑤住民を対象とした水防災意識アンケート調査

第2期の取組効果を、アンケートを通じて**住民目線で評価**することで、第2期の取りまとめと、第3期の取組の継続・完了・新規取組策定の判断に活用します。

- ✓ アンケート方法:Webモニターアンケート
- ✓ 実施期間:令和7年6月～7月(予定)
- ✓ アンケート調査項目及び設問は、減災対策協議会での取組内容と対応して設定
(具体的内容については、実施前にお知らせします)

設問項目(案)	ねらい
水害リスクの認知度	ハザードマップや浸水実績の周知等 の取組進捗を評価
水害への備えに関する理解度	水害への備えとして正しい知識を持っているかを問い、 防災教育の促進に係る取組 の進捗を評価
取組の認知度、実施状況	マイ・タイムラインの作成や避難訓練への参加等 の取組進捗を評価

活用事例

「**ハザードマップの改良、周知、活用**」や「**浸水実績等の周知**」に関する取組項目は、全機関が一度は実施しているものの、**実際に住民に伝わっているかは不明**。

⇒ハザードマップ・浸水実績に関する認知度を調査し、**取組方法の見直し・改良**を行う



アンケートにより認知度を調査

住民目線による取組効果の評価を分析

取組方法の見直し・改良

鳥取河川国道事務所の取組事例

8 タイムラインの時系列に基づく実践的な訓練の実施

継続

■対象機関(赤字)

鳥取市・鳥取県・鳥取地方気象台・中国地整

■課題対応:A、C、E、G、H、Q

■目標時期:R2～ 定期的に実施

【千代川水系】

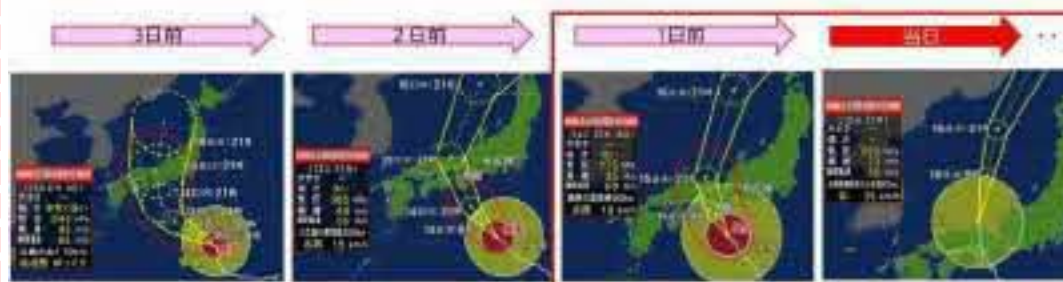
□ 第13回千代川水害タイムライン検討会において、情報伝達訓練を実施(令和6年度)



情報伝達訓練の実施

訓練で想定する状況

➤ 令和5年度 台風7号を想定した訓練とします。



出典：第13回千代川水害タイムライン検討会資料



■対象機関(赤字)

鳥取市・鳥取県・鳥取地方気象台・中国地整

■課題対応:F、G

■目標時期:継続実施

【千代川水系】

- 出前講座を実施(令和3年度)
- 鳥取市マイ・タイムラインを活用したワークショップを開催(令和3年度)
- 防災アプリにマイ・タイムライン作成のための予算措置(令和6年度) !



地域住民を対象とした出前講座



令和2年度の実績(第9回協議会資料)

- ・美保南地区(R2.7.25)
- ・松保地区(R2.9.18)
- ・就労支援事務所(R2.10.21)
- ・矢原地区(R2.11.6)

出典:第9回・第11回協議会資料(鳥取河川国道事務所)



鳥取市マイ・タイムラインを活用したワークショップの開催

- ・令和6年久松小学校、富桑小学校で出前講座にて講習



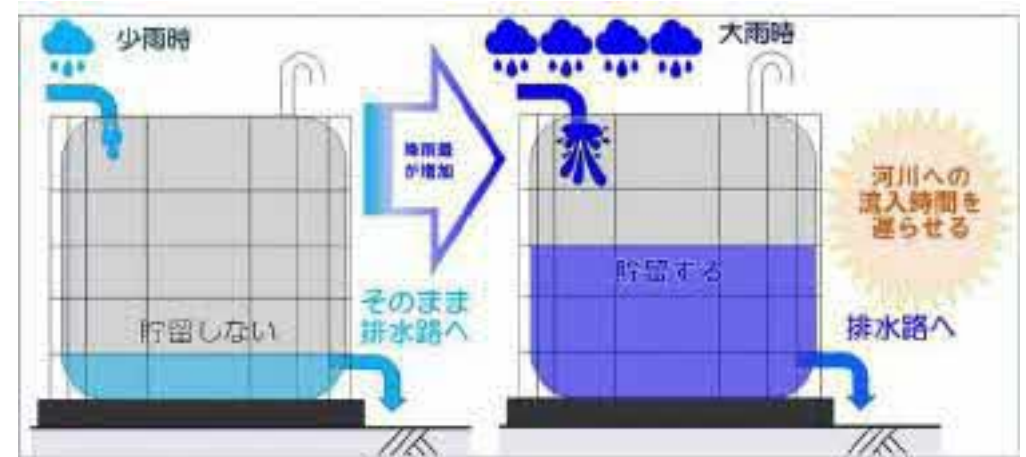
流域治水の取組事例の紹介

道路排水（高架下）の雨水貯留タンク設置

【位置図】



令和7年3月22日に、流域内の関係者が協働して流域治水を推進するための新しい取り組みとして、鳥取河川国道事務所が管理する**国道29号高架下の未使用地に雨水貯留タンクを設置し、道路排水を一時的に貯留させ河川への流出ピークを遅らせる**取り組みを実施



効果(貯留)イメージ

- ・貯留タンク種類 : 地上式雨水貯留タンク
- ・貯留タンク構造 : タンク式
- ・貯留タンク材料 : ポリエチレン製

天神川水系大規模氾濫時の 減災対策協議会 資料

国土交通省 中国地方整備局
倉吉河川国道事務所



国土を**整**え、全力で**備**える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

■ソフト対策

1. 多機関連携型タイムラインの運用
2. まるごとまちごとハザードマップの実施
3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進
4. ダム事前放流の取組
5. 自主防災組織を対象とした防災知識の普及
6. 中学校を対象とした防災教育の実施
7. 合同点検・操作訓練の実施

■ハード対策

8. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

1. 多機関連携型タイムラインの運用

- 令和6年度は、**タイムラインレベル1に到達した出水のみ**であった。令和6年6月の顔合わせ・読み合わせに加えて、令和7年2月に出水期でのタイムライン運用を踏まえたタイムライン見直し(案)の確認を実施した。
- 具体的に、タイムライン見直し(案)としては、**詳細版の修正方針及び運用支援システムの改良方針の提示**を行った。

令和6年
6月6日

第13回検討会（令和6年第1回検討会）
□顔合わせ、タイムライン修正版を踏まえた読み合わせ 等

タイムラインレベル1
に到達した出水のみ

令和7年
2月

第14回検討会（令和6年第2回検討会）※
□振り返りアンケート結果、運用支援システム改良方針 等

※書面開催



稲田副所長



三輪座長

令和6年度 第1回 天神川水害タイムライン検討会の様子

【座長講評】

- 運用支援システムは、これまでの出水期での運用を踏まえた改善により、様々な情報を集約したツールになっている。しかし、操作に習熟していないと有効活用できないため、担当者には操作方法を理解していただきたい。そして、出水期に実際に使用していただき改善点があれば連絡をお願いしたい。
- 本検討会の目標は水害時の「逃げ遅れゼロ」になる。この目標の達成のため、関係機関の皆様には協力をお願いしたい。

【関係機関からの主な意見】

- タイムライン運用支援システムは、関係機関は日ごろから確認できるのか？

→システムは、関係機関は日ごろから確認可能。ただし、アクセス集中等により表示に支障が無いように一般公開していない。

1. 多機関連携型タイムラインの運用

➤ 出水期振り返りアンケート調査結果を踏まえて、運用支援システムについて下記の通り改良を行う予定です。

① トップページを、現行の基準に合わせて、TL 4 相当を「非常に危険・極めて危険」から「危険」、TL 5 相当を「－」から「災害切迫」に修正

② 外部サイトのリンク追加（鳥取県土砂災害警戒情報システム（公開版））

天神川水害タイムライン運用支援システム

タイムライン
変更ツール
(管理者用)

発動していません

水位
が分かる

現地状況
が分かる

道路情報
が分かる

気象情報
が分かる

台風の進路
が分かる

停電情報
が分かる

鳥取県土砂災害警戒情報システム
公開版

天神川水害
タイムライン

タイムラインレベルに関 わる情報		TL0相当	TL1相当	TL2相当	TL3相当	TL4相当	TL5相当
河川水位	今の状況	-	-	水防団待機水位超過	避難判断水位超過	氾濫危険水位超過	-
小田	0.50m	-	-	3.5m	5.7m	6.9m	-
竹田橋	1.76m	-	-	2.9m	4.7m	5.95m	-
河原田	0.68m	-	-	2.2m	3.7m	4.2m	-
三船	1.80m	-	-	-	4.2m	5.0m	-
振光	0.83m	-	-	1.8m	3.3m	3.6m	-
気象情報	今の状況						
大雨警報	-	-	-	大雨注意報	大雨警報	土砂災害警戒情報	大雨特別警報
洪水警報	-	-	-	洪水注意報	洪水警報	-	-
洪水予報	-	-	-	氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
その他×	※下の項目はタイムラインレベルの判別に関わる情報ですが、黒色はされないためクリックで確認ください。						
台風	-	2～3日後	-	-	-	-	-
早期注意情 報	-	2～3日後	1日後	-	-	-	-
大雨情報	-	-	-	-	-	記録的短時間大雨情 報	-
大雨警報の 危険度分布	-	-	-	注意	警戒	危険	災害切迫
洪水警報の 危険度分布	-	-	-	注意	警戒	危険	災害切迫

TL 4 相当と TL 5 相当を
現行の基準に合わせて修正

1. 多機関連携型タイムラインの運用

➤ 出水期振り返りアンケート調査結果を踏まえて、運用支援システムについて下記の通り改良を行う予定です。

①トップページを、現行の基準に合わせて、TL 4 相当を「非常に危険・極めて危険」から「危険」、TL 5 相当を「－」から「災害切迫」に修正河川水位とカメラ画像が同時に確認できるように運用支援システム(水位が分かる)を改修

②外部サイトのリンク追加(鳥取県土砂災害警戒情報システム(公開版))

鳥取県土砂災害警戒情報システム

天竺川水害タイムライン運用支援システムの修正内容

リンクアイコンを追加

天竺川水害タイムライン運用支援システムの修正内容

2. まるごとまちごとハザードマップの実施

- ハザードマップに記載されている**浸水深や避難所等の情報を、標識として「まちなか」に表示**することにより、住民の防災への意識を高めるとともに、浸水深等の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動につなげることを目的に、天神川水系の沿川自治体では、まるごとまちごとハザードマップを実施しています。
- 令和6年度は、倉吉市内で自主防災組織により**まるごとまちごとハザードマップが新たに2か所設置**されました。



「まるごとまちごとハザードマップ」とは
千年に一度起こるかどうかの猛烈な大雨で
予想される最大浸水の深さを「まちなか」に
表示して、地域の洪水の危険性を知ること
で防災への意識を高めます。

令和6年度は、自主防災組織が想定
浸水深看板を設置する経費の1/2を
倉吉市が助成する制度を活用し、2箇
所の設置がありました。

倉吉市が小中学校などに設置した27施設に加え、自主
防災組織の設置が12施設となり、市内計39施設の設置
数になりました。※国及び県の設置は含まれていません。



令和6年度
設置場所
(2カ所)

No.	施設名	所在地	想定浸水深
1	下田中自治公民館	下田中	5.2m
2	上井1丁目西自治公民館	上井1丁目	5.6m

5m以上 3m以上5m未満 3m未満



下田中自治公民館



上井1丁目西自治公民館

2. まるごとまちごとハザードマップの実施

- ハザードマップに記載されている**浸水深や避難所等の情報を、標識として「まちなか」に表示**することにより、住民の防災への意識を高めるとともに、浸水深等の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動につなげることを目的に、天神川水系の沿川自治体では、まるごとまちごとハザードマップを実施しています。
- 令和6年度は、倉吉市内で自主防災組織により**まるごとまちごとハザードマップが新たに2か所設置**されました。

下田中自治公民館（下田中）



上井1丁目西自治公民館（上井）



3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進

- 令和元年度より、要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び訓練実施を完了するための取組を加速しています。
- 各市町の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成状況も上がっています。
- 今後は、避難確保計画の作成に加え、**訓練実施の支援**も促進する必要があります。

「大規模氾濫減災協議会」の運用について（平成29年6月19日）【抜粋】

7. 協議会での取組事項

(1) ①－1カ 要配慮者利用施設等における避難確保計画の作成・訓練に対する支援

- ・洪水浸水想定区域内における要配慮者利用施設及び地下街等の立地状況を確認するとともに、市町村地域防災計画に定められた要配慮者利用施設の避難確保計画及び地下街等の避難確保浸水防止計画の作成状況、訓練の実施状況を確認する。
- ・避難確保計画の作成状況や訓練の実施状況を踏まえ、それぞれの取組を促すための支援策について検討調整する。また、施設職員だけで対応することが難しい場合の地域の支援体制について検討・調整する。

避難確保計画の作成状況

	対象施設数	避難確保計画 作成済み施設数
倉吉市	170	170
三朝町	11	10
湯梨浜町	32	30
北栄町	32	26

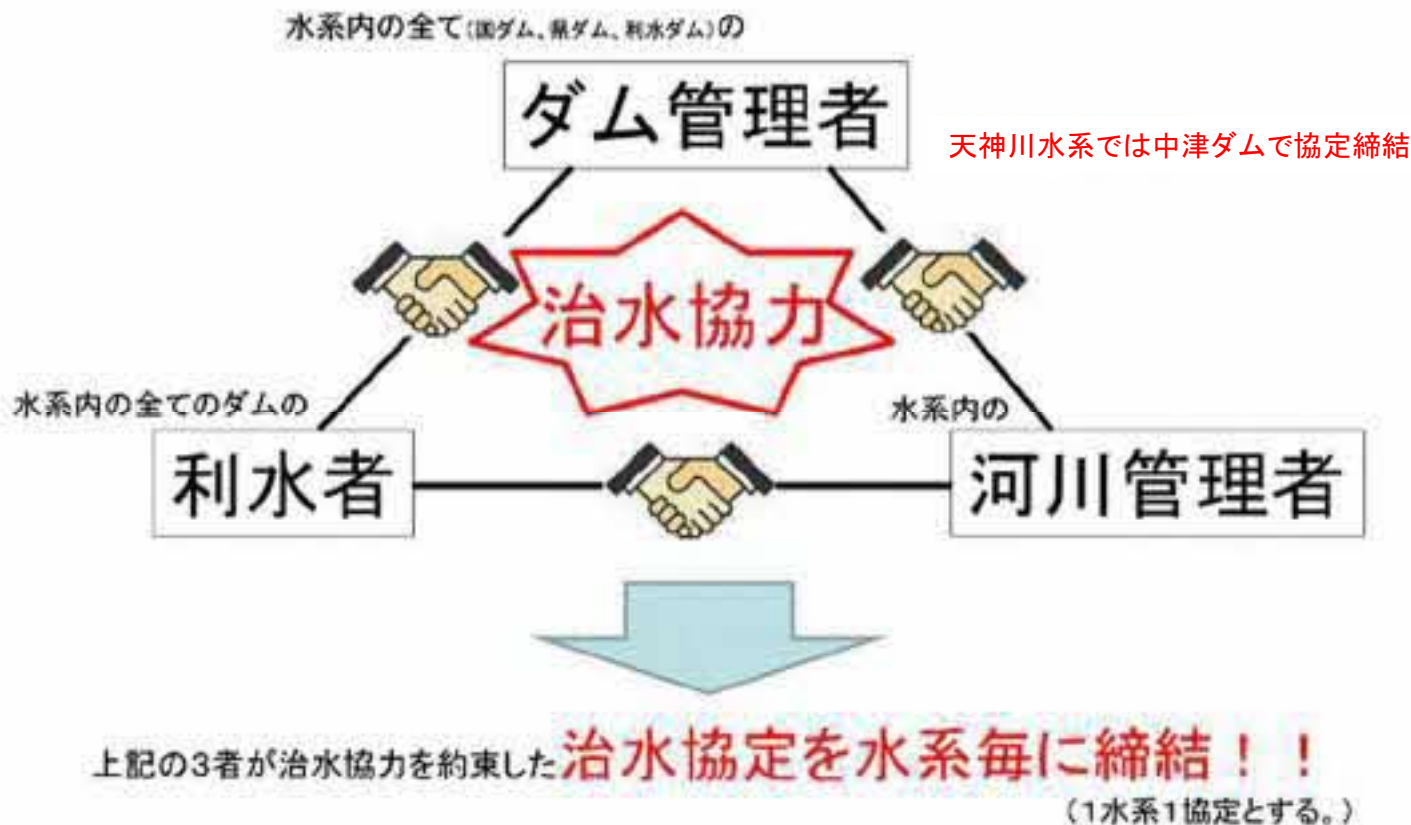
避難確保計画に基づく訓練の実施状況

	訓練実施済の 施設数
倉吉市	158
三朝町	10
湯梨浜町	7
北栄町	26

作成数・訓練の実施数は、進捗管理表のアンケート結果より集計（R6.3）

4. ダム事前放流の取組

- 令和元年台風19号等の被害を踏まえ、緊急時において既存ダム（利水ダム含む）の洪水調節機能の強化に向けて、「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針(令和元年12月12日)」が定められました。
- 本方針に基づき天神川水系では、河川について水害発生の防止等を図るために、令和2年に天神川水系治水協定を締結し、中津ダムの洪水調節機能強化を推進しています。
- 中津ダムでは、洪水調節容量を、利水容量から一時的に確保する事前放流する取組が、ダム工事のため中断していましたが、工事完了に伴い、令和6年8月から事前放流の取組を再開しています。



治水協定イメージ

5. 自主防災組織を対象とした防災知識の普及

- 倉吉河川国道事務所では、近年洪水に関する地域住民の関心が高まる中、積極的に防災講習会を行っています。令和6年度は、倉吉市上井地区・上小鴨地区の住民から要望を受けて説明会を実施しました。
- 説明会では、**天神川の特徴、河川整備計画**や、流域のあらゆる関係者が協働して行う流域治水への転換を進める**流域治水プロジェクトの重要性**などについて説明しました。

倉吉市上井地区

【実施日】令和6年6月11日(火)

【開催場所】上井コミュニティセンター

【参加者】近隣住民やコミュニティセンター職員 約30名

【感想・質問等】

Q. まるごとまちごとハザードマップの浸水深の高さはどんな場合を示しているのか

A. 千年に一度の規模の雨により洪水が発生し、破堤による浸水範囲が最も大きくなる場合の浸水深を示している



倉吉市上小鴨地区

【実施日】令和6年7月28日(日)

【開催場所】上小鴨コミュニティセンター

【参加者】近隣住民やコミュニティセンター職員 約30名

【感想・質問等】

内外水一体型の水害リスクマップは地域の内水対策の解決策や対策に繋がるので早く公表して欲しい



5. 自主防災組織を対象とした防災知識の普及

- 三朝町総合文化ホールで開催された三朝町外国人防災勉強会に降雨体験機の設置と令和5年台風7号、伊勢湾台風のパネル展示を行いました。
- 三朝町をはじめとする近隣市町在住の外国人の方に参加いただき、防災かるたや防災ボトルづくりなどの防災学習を体験いただきました。

実施日 令和6年10月27日（日）10:00～12:00

開催場所 三朝町総合文化ホール

参加者 30名程度

参加機関 国際交流財団、三朝町、鳥取地方気象台、倉吉河川国道事務所、鳥大防災Lab.、岡山大学



パネル展示と降雨体験機



降雨体験



防災かるた



雨量計、風向風速計

6. 中学校を対象とした防災教育の実施

- 倉吉河川国道事務所では、川の防災教育を継続的に実施しており、その取り組みの一環として、倉吉市立東中学校の生徒に「**天神川の防災(水害)**」について出前講座を行いました。
- 当日は、**天神川の特徴**や**過去の被害**、**河川事業**、**流域治水**の取り組みについて説明を行いました。また、「河川三次元管内図」というシステムを実際に使って、どこでどれくらい浸水するのか、どこにどんな生き物が生息しているかなどを見ていただきました。（※河川三次元管内図＝浸水想定区域図や航空写真、河川環境情報図などを地図上に表示でき、河川を立体的に見ることが可能）

倉吉市立東中学校

【実施日】令和6年5月30日(木)

【参加者】生徒 5名

【感想】

- ・ 川の課題や対策について学ぶことができた
- ・ 被害を防ぐために色んな対策をしていることを学んだ
- ・ どこに避難をしたらいいか、ハザードマップを使って確認をしたい
- ・ いつ来るか分からない災害に向けて防災グッズを備えたい



7. 合同点検・操作訓練の実施

- 天神川水系直轄管理河川に係る洪水時に危険が予測され重点的に点検が必要な箇所(重要水防箇所)について、沿川の自治体(倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町)及び水防団と合同点検や情報共有を行いました。
- 倉吉河川国道事務所では、出水期に備え、非常時における災害復旧作業を迅速に行うことを目的として災害対策用機械(排水ポンプ車等)の操作訓練を実施しました。

重要水防箇所 合同点検



災害対策用機械 操作訓練



7. 合同点検・操作訓練の実施

- 毎年行っている樋門操作講習会を今年度も開催しました。今回は新たに導入した「樋門情報提供機能」の説明も行いました。講習会には、操作員のほかにバックアップ体制要員の市・町職員も合同で開催しました。
- 天神川水系直轄管理河川の全区間において出水期前に、毎年堤防点検を実施しており、緊急を要するものが発見された場合は早急に対応を行っています。

樋門操作講習会の開催



堤防点検



8. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

- 倉吉河川国道事務所では、氾濫による危険性が特に高い区間において、洪水を安全に流下させるため必要な樹木伐採・河道掘削等を実施しています。
- 令和5年度は、小鴨川（生竹地区）において洪水時に増水した河川水を安全に流下できるように河道掘削を実施しました。

■ 令和6年度事業実施箇所



＜河道掘削前＞

令和6年度事業実施箇所



＜河道掘削後＞



■ソフト対策

1. 多機関連携型タイムラインの運用
2. まるごとまちごとハザードマップの実施
3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進
4. マイ・タイムラインの作成支援
5. 内外水一体型水害リスクマップの作成

■ハード対策

6. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

1. 多機関連携型タイムラインの運用

- 天神川水害タイムライン検討会では、出水期でのタイムライン運用を踏まえたアンケート調査を実施し、この結果を踏まえた①タイムライン詳細版の見直し、②タイムライン総括版の見直し、③運用支援システムの改良を実施しています。
- 令和7年度の出水期前を目途に、令和7年度の運用について説明するための検討会の開催を予定しています。

「いつ」

- 防災行動を行うタイミング(TLレベル毎に発表情報や状況を整理)

「何をするか」

- 行動は、階層別に記載
- 既存の防災計画等と整合性を踏まえて防災行動を整理

「誰が」

- 担当機関の防災行動の役割を表示
- ◎：主体的に行動する機関
- ：支援または協働する機関

多機関連携型タイムラインのイメージ

①詳細版：担当者が詳細な対応を確認できるタイムライン

A3サイズ

天神川水害タイムライン詳細版

②総括版：班長等が俯瞰的に作業の漏れがないかを確認できるタイムライン（水位上昇が早い天神川でも、短時間で最低限実施すべき内容がチェックできる）

A2サイズ

総括版は折りたたみ、持ち運びが可能な形式

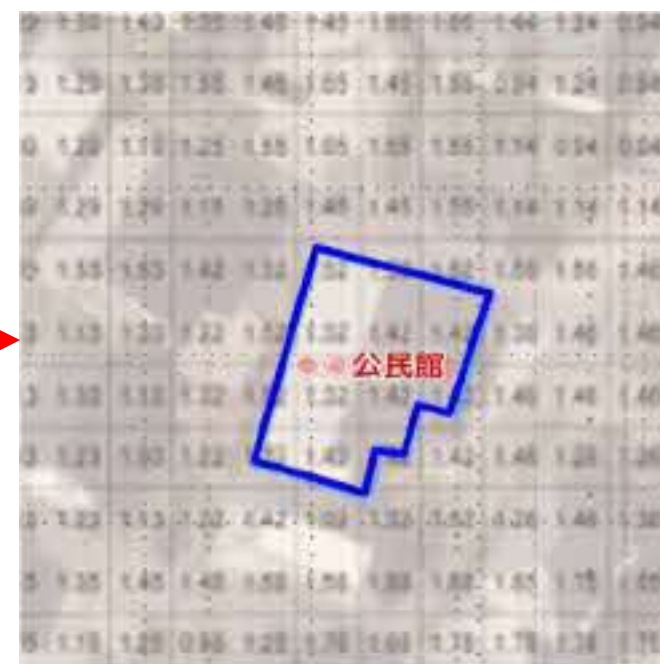
天神川水害タイムライン総括版

③タイムライン運用支援システム：タイムラインに必要な防災情報を集約したシステム

運用支援システム

2. まるごとまちごとハザードマップの実施

- 天神川水系では、住民の防災意識向上や浸水深等の普及を目的に、まるごとまちごとハザードマップの整備を進めています。
- 倉吉河川国道事務所では、天神川流域市町のまるごとまちごとハザードマップ設置を支援するために、依頼があった施設等について、**洪水浸水想定区域の浸水深の確認**等を行っています。
- 倉吉市は、令和2年度よりまるごとまちごとハザードマップの設置を実施しており、令和4年度から自主防災組織による**標識設置に対する補助金制度**を導入しています。令和7年度も、引き続き**補助金制度を活用した標識設置を予定**しています。



設置予定箇所の浸水深の確認

実施フロー詳細図（まるごとまちごとハザードマップ実施の手引き 第2版 P.5）

- 令和元年度より、要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び訓練実施を完了するための取り組みが加速しています。
- 天神川流域市町の要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成率は高い状況ですが、引き続き未作成の施設の**避難確保計画の作成支援**や**避難確保計画に基づく訓練実施**の支援をお願いします。
- **避難確保計画支援動画及び避難確保計画の作成・活用に関するリーフレット**もご参考ください（次ページ参照）。

避難確保計画に関する事務連絡

避難確保計画支援動画に関する説明資料(参照資料)

5 2009年12月10日 星期五

要配慮者利用施設における 避難確保計画の作成・活用について

[illegible]

- | | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|
|  <p>事業所南側学習館跡地</p> | |  <p>取水口南側が美浜町域</p> | |  <p>取水口北側が美浜町域</p> | |
|  <p>木材置き場</p> | |  <p>浄水場</p> | |  <p>水路</p> | |
|  <p>土砂置場南側の管線跡地</p> | |  <p>取水口南側が美浜町域</p> | |  <p>取水口北側が美浜町域</p> | |
| <p>  事業所南側、中央、取水口南側、取水口北側が美浜町域です。 </p> | | | | | |

2 股額分配に関する事項

-
- ① 全体を指導する「**地域情報センター**」
- ② 情報収集や伝達を担う「**地域情報センター**」
- ③ 市民への情報提供を行う「**地域情報センター**」
- ④ 市民への情報提供を行う「**地域情報センター**」

3. 证明: 设 $f(x)$ 是定义在 $[a, b]$ 上的连续函数, 且 $f(a) = f(b)$. 证明: 存在 $\xi \in (a, b)$, 使得 $f(\xi) = \frac{1}{b-a} \int_a^b f(x) dx$.

- [illegible]

4. 國際化公司與全球性公司之區別

- | | | | | | |
|-------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 第1期
1月1日 | 1
第1期
1月1日 | 2
第2期
1月15日 | 3
第3期
1月30日 | 4
第4期
2月14日 | 5
第5期
2月28日 |
| 第1期
1月1日 | 第1期
1月1日 | 第2期
1月15日 | 第3期
1月30日 | 第4期
2月14日 | 第5期
2月28日 |
| 第1期
1月1日 | 第1期
1月1日 | 第2期
1月15日 | 第3期
1月30日 | 第4期
2月14日 | 第5期
2月28日 |

39

4. マイ・タイムラインの作成支援

- マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理したものです。
- マイ・タイムラインの作成支援のためのツールとして、「逃げキッド」や「マイ・タイムラインかんたん検討ガイド」、「マイ・タイムライン検討のためのワークショップの進め方」などを国土交通省HPで確認可能です。



要配慮者マイ・タイムライン

動画：岡谷さんのマイ・タイムライン
(<https://www.youtube.com/watch?v=5RGuYfgeJoo>)

マイ・タイムライン作成支援のためのツール



逃げキッド



マイ・タイムライン
かんたん検討ガイド



マイ・タイムライン検討のための
ワークショップの進め方

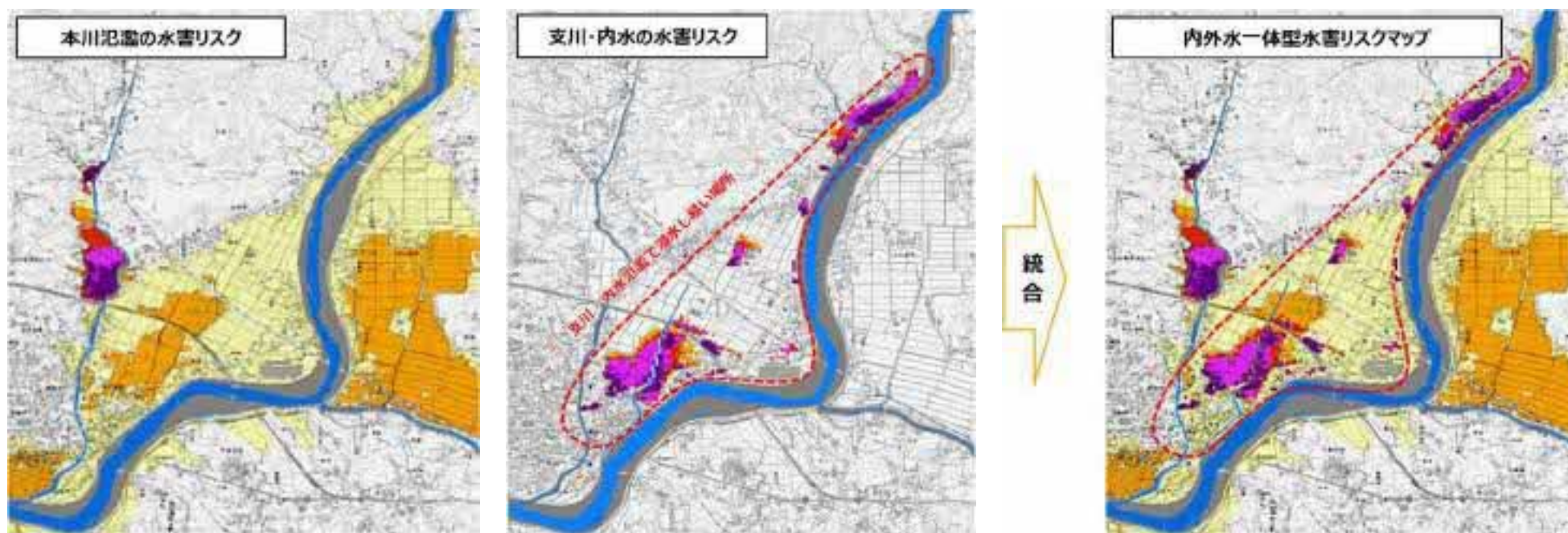


逃げキッドを活用したタイムラインの作成方法解説動(YouTube)

5. 内外水一体型水害リスクマップの作成

- 現在公表されている洪水浸水想定区域図は、一般的に大河川・中小河川・下水道等の管理者別に作成・提供されており、それぞれが対象としている降雨規模等が異なることから、防災まちづくりの検討や避難検討で必要となる場所ごとのリスク情報を得るうえで十分とはいえない場合があります。

→沿川自治体が水害リスクを評価し、**中～高頻度の被害を軽減する減災対策(防災まちづくり、田んぼダム等)の検討や避難検討(本川氾濫前に支川・内水氾濫により避難し難くなる場所の確認等)に活用**できるように、今後河川管理者が**内外水一体型水害リスクマップを作成する。河川毎ではなく支川や内水(下水道等)も考慮し、浸水しやすい地域や氾濫シナリオなどを検討し、自治体へ水害リスクを情報提供**していきます。



内外水一体型水害リスクマップのイメージ

6. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

- 気候変動により頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対する安全度の向上を図るために、これまでの河川管理者等による対策でなく、流域のあらゆる関係者の協働によるハード・ソフト一体の水災害対策として「**流域治水**」を推進しています。
- 天神川水系における流域治水の一環として、**小鴨川(生竹地区)**において、**河道掘削**を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

■ 事業箇所

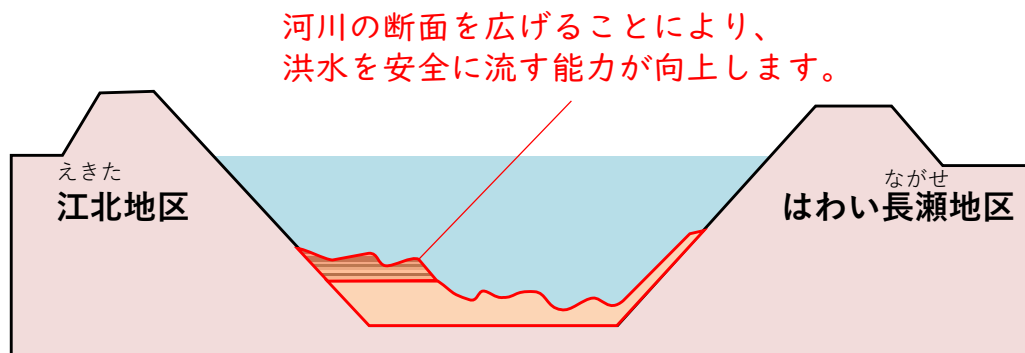
鳥取県東伯郡北栄町北条地先

地区名：鳥取県東伯郡北栄町江北及び湯梨浜町はわい長瀬

■ 期待される整備効果

河道掘削を実施することで、戦後最大の洪水となる伊勢湾台風(昭和34年9月)が再び発生した場合において、周辺地域の浸水被害の防止が図られます。

【整備イメージ】



■ 令和7年度 事業実施箇所



日野川水系大規模氾濫時の 減災対策協議会 説明資料

- 1. 令和6年度の主な取組内容……………P44
 - 2. 令和7年度の主な取組予定……………P55
- 別紙:各取組項目におけるスケジュール

第14回 日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

1. 令和6年度の主な取組内容

・日野川水防演習に伴い米子市防災訓練を計画、防災意識啓発のため様々な取組を実施

＜訓練内容等＞

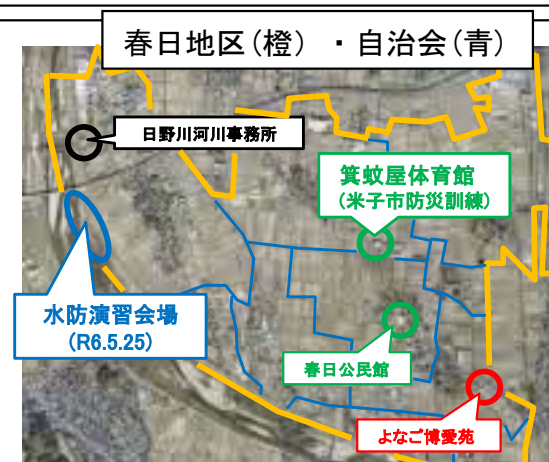
- 水害を想定した自治会ごとでの避難行動を確認（タイムライン確認）。
- 参集施設での講習、物資実地訓練等を実施した。
- 社会福祉法人でのタイムライン作成に向け階上垂直避難訓練を行った。
- 訓練参加者 米子市春日地区10自治会参加、住民及び関係機関含み200名



避難者、地元神社に参集



要配慮者施設での避難誘導
(社)よなご博愛苑(米子市一部)



想定避難先体育館での資機材研修
(ダンボールベッド・プライバシーテント設営、煙体験・ほか資機材利用紹介)



訓練参加者への防災講習

・伯耆町の取組

【平時の取り組み】

- 出水期の事前啓発活動（広報誌、町ケーブルテレビ、防災無線 等）
- 防災講演会の実施…R6年度実績 1回（食生活改善推進委員）
- 備蓄品の整備

【住民の避難に関する取組】

- 避難についての知識やハザードマップの活用方法についてケーブルテレビにて周知
- ペット同行避難について避難所選定等の検討を開始

【防災訓練等】

- 日野川総合水防演習への参加（消防団）
- 地震を想定とした避難訓練の実施 ※R6年度は荒天のため中止

備蓄品の整備

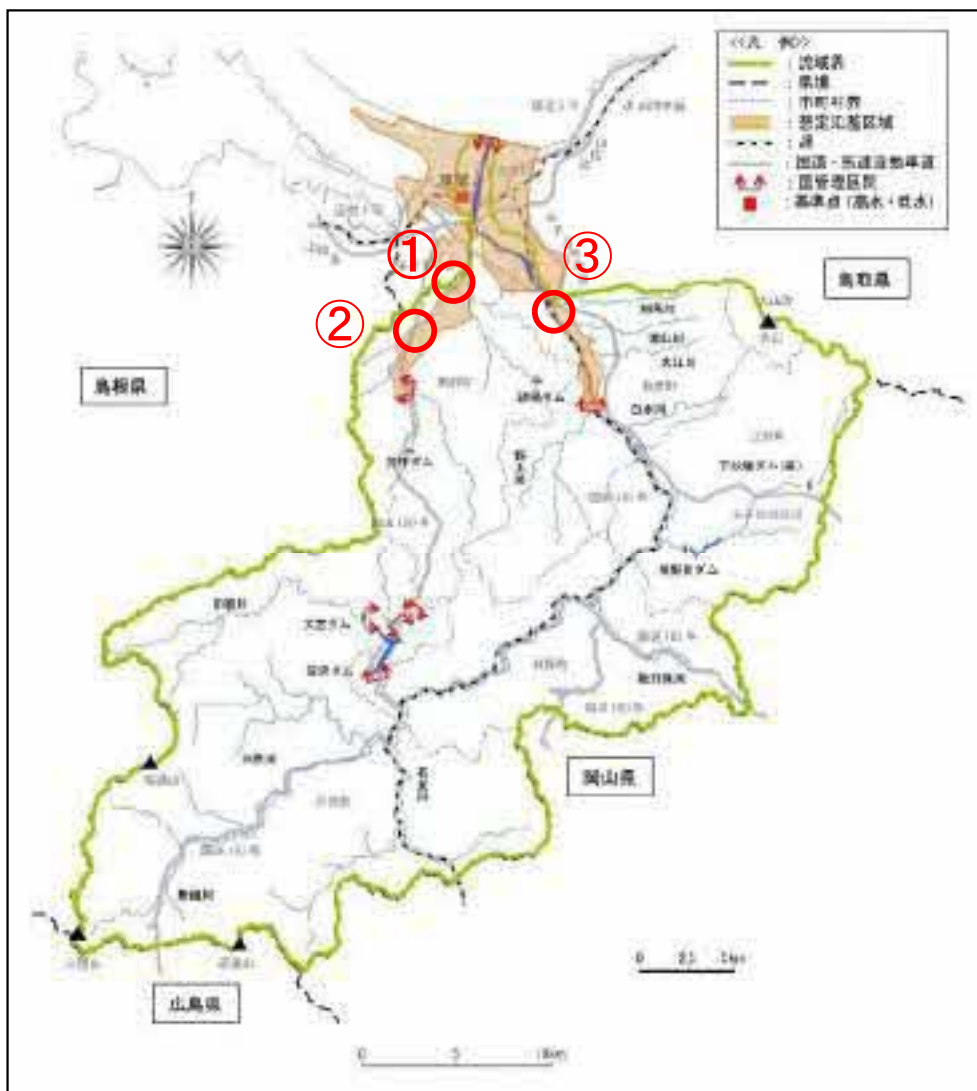


日野川総合水防演習



・河川管理施設の整備

法勝寺川の大袋地区及び福成地区と日野川の吉定地区にて、河川管理施設の整備を実施しました。



日野川流域 全域図

出典:国土交通省公式HPより

対策後



①大袋地区
堤防工事
R7.3.21撮影

②福成地区
護岸工事
R7.3.25撮影



③吉定地区
護岸工事
R7.3.21撮影



・水防資機材等の整備とその情報共有

保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。



・水防資機材等の整備とその情報共有

保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。

備蓄資材及び備蓄土一覧表（R6年4月現在）

[illegible]

■ 備蓄土

位置(地名)	距離(km)	完成年度	整備内容	関係市町村
日野川 右岸(富吉地先)	1.8 ~ 1.9	S43	L=100m, B=9m, A=900m ² , V=1,400m ³	日吉津村
日野川 左岸(佐生地先)	2.0 ~ 2.2	H2	L=200m, B=20m, A=4,000m ² , V=17,000m ³	米子市
日野川 左岸(福地地先)	5.1 ~ 5.4	S42	L=80m, B=7m, A=560m ² , V=1,000m ³	米子市
日野川 右岸(八幡地先)	7.7 ~ 7.9	H元	L=120m, B=6m, A=720m ² , V=1,800m ³	米子市
法勝寺川 左岸(宗像地先)	1.1	H元	L=50m, B=6m, A=300m ² , V=500m ³	米子市

■ブロック

位置(地名)	距離標(km)	備 考 内 容
日野川 右岸 (日吉津村富吉地先)	1.8	六脚プロダク型(3.4t) 91個、ストーンロッキー24t型(3.6t) 23個
日野川 左岸 (米子市福市地先)	4.7	土のう 500体、六脚プロダク型(1.98t) 25個、六脚プロダク型(3.4t) 22個、三連プロダク型(3.88t) 52個
日野川 左岸 (伯耆町宇代地先)	14.6	三連プロダク型(3.88t) 79個

第10回 日野川水害タイムライン検討会

令和6年6月27日(木)

国土交通省 日野川河川事務所 (10:00~12:00)

～次第～

- 1.開会挨拶
- 2.令和6年出水期の見通し
- 3.日野川水害タイムラインの概要
- 4.日野川水害タイムラインの運用について
- 5.令和5年台風第7号を踏まえた佐治川流域安全確保に関する取組
- 6.日野川水害タイムラインの読み合せ
- 7.令和5年度出水期の運用に向けた留意事項
- 8.連絡事項
- 9.質疑応答
- 10.講評

令和6年度の出水対応に向けて、タイムラインの概要や防災対応の全体像の確認を目的とした第10回検討会を開催しました。

◆参加機関 (22機関)

米子市	防災安全課、道路整備課、 長寿社会課、水道局	福祉施設	なんふふ楽苑、米子ワークホーム
南都町	総務課、健康福祉課	交通機関	JR西日本
日吉津村	総務課	ライフライン	中国電力ネットワーク、 米子ガス
鳥取県	河川課、警察本部、 米子警察署、鳥取警察署、 西部広域行政管理局消防関係	通信インフラ	NTT西日本
防衛省	陸上自衛隊	報道機関	山陰中央テレビジョン放送
気象庁	鳥取地方気象台	国土交通省	日野川河川事務所



＜検討会の様子＞

◆鳥取地方気象台、鳥取県河川課からの情報提供

- ・鳥取地方気象台より、令和6年度の出水期の天候見通し、線状降水帯による大雨の新たな運用について説明。
- ・鳥取県河川課より、令和5年台風第7号に係る気象概況やダム、状況、地元との意見交換で出された課題を踏まえた対応内容について説明。



＜鳥取地方気象台からの情報提供資料＞



＜鳥取県河川課からの情報提供資料＞

◆タイムラインの概要、運用方法の確認

- ・今年度から新しくタイムラインの担当になった方もいることを踏まえて、タイムラインの概要や運用方法、活用方法等の全体像を説明。



◆タイムラインの読み合せ

- ・各タイムラインレベルの状況を動画で渡し、各機関の行動や発信される情報をレベル毎（レベル準備、注意、1～5）に確認する読み合せを実施。



＜各タイムラインレベルでイメージする状況＞ ＜タイムライン詳細版から行動や情報を確認＞

◆今後の予定に関する連絡事項

- ・流域自治体の防災情報を一元的に示した「防災情報一元画面」について説明。（8月より試行予定）
- ・タイムラインの活用方法や情報提供システムの操作を説明する「ウェビナー」の開催を案内。

◆講評

- ・タイムライン発動時の行動を事前に把握することが重要である。まずは、タイムライン発動時のメールを事務局からテスト配信し、各機関には受信後の対応を確認していただきたい。
- ・また、タイムライン解説動画を用いたタイムラインの理解向上や、情報提供システムの操作方法の確認等を平時から行っていただきたい。



鳥取大学 三崎教授

◆まとめ

- ・令和6年度の出水期の見通しや令和5年台風第7号による鳥取市での被害状況を共有し、日野川で出水が起きた場合の対応を関係機関で確認した。
- ・タイムラインの目標である「逃げ遅れゼロ」の達成に向けて、引き続き関係機関で連携して取り組む。

第11回 日野川水害タイムライン検討会

令和6年12月4日(水)

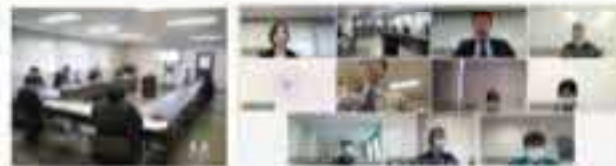
国土交通省 日野川河川事務所 (10:00~11:40)

- 次第-
- 1.開会挨拶
 2. 令和6年度の振り返り
 - 3.事前アンケート結果
 - 4.タイムラインの改善に向けた意見交換
 - 5.連絡事項
 - 6.質疑応答
 - 7.講評
 - 8.閉会

令和6年度の出水対応を振り返り、タイムラインをブラッシュアップすることを目的として、第11回検討会を開催しました。

◆参加機関(10機関)

米子市	防災安全課、上下水道課
鳥取県	河川課、西部広域行政事務組合河川課
環境施設	なんぶ環境局、よなご大平園
ライフライン	中国電力ネットワーク㈱
通信インフラ	NTT西日本㈱
気象庁	鳥取地方気象台
国土交通省	日野川河川事務所



<検討会の様子>

◆令和6年度出水期の振り返り

- ・日野川河川事務所より、令和6年度出水期におけるタイムライン発動状況を説明した。
- ・鳥取地方気象台より、日野川で今年一番の大雨となった11/2の大雨の際の気象状況や、今後の気候変動による影響の可能性について説明した。

<タイムラインの発動状況>

	期間	要因	レベル到達
①	8/23~9/2	台風10号	レベル2
②	11/1~11/3	台風から変わった低気圧や前線の影響	レベル2

◆タイムラインの改善に向けた意見交換

- ・令和6年度の出水期状況や出水期振り返りアンケート結果を踏まえて、タイムラインの改善に向けた意見交換を実施した。

令和6年度の出水期状況

危機感共有定例会

- ・台風期の各月に1回、顔の見える関係作りや出水に対する危機感共有を目的に定例開催。



ウェビナー

- ・タイムラインについて平時から理解を深めることを目的として台風期の頭に開催。



情報提供システム流域一元画面

- ・流域全体の状況を俯瞰的かつ一元的に把握することを目的として台風期に試行運用。



取組	アンケート結果まとめ	アンケート結果を踏まえた意見交換テーマ	意見交換概要
今年度の出水対応	✓ 出水期中の台風10号では、実対応が必要な状況にはならなかった。	✓ 出水期後に大雨(11/1~11/3)が発生したため、当時の出水期状況や課題について意見交換	✓ 当時は、水防警報や高潮警報等が発表される状況。 ✓ レベル到達の見直しをメールで共有されると事前対応に役立つ。
タイムライン活用状況	✓ 多くの機関が利用し、発動時のメールが役立ったと回答した一方で、出水時はメールが来るとの意見。	✓ メールが来るとの意見を踏まえて、メールで受信した情報の整理や、発動時の工夫を共有	✓ タイムラインのメールは状況把握の参考として活用。 ✓ メールでは、件名へのレベル表記時、視覚的に状況を把握できるよう工夫。
効果的な運用に向けた取組	✓ 危機感共有定例会、ウェビナーは参加機関の7~8割が役立ったと回答。 ✓ 日程やWeb会議の都合で参加できなかったとの機関もあり。	✓ 有効性が確認できた危機感共有定例会、ウェビナーを令和7年度以降も継続的に運用するため、より効果的な開催方法を意見交換	✓ Web会議でカメラを全機関オンにして、顔の見える関係が構築できると有効。 ✓ 意見交換を効果的に行うため、各機関からの情報提供テーマを絞ることを提案。
情報提供システム	✓ 約4割の機関が利用し、役立ったと回答した一方で、流域一元画面のことは知らなかったとの意見。	✓ 有効性が確認できた流域一元画面の活用を促進するため、台風10号における再運用を踏まえて意見交換	✓ 今年度の出水期は使う場面が無かったが、流域の情報を一元的に把握できて有効。

◆講評

- 振り返りアンケートの結果を踏まえて、次の改善に活かすことができたと思う。
- 危機感共有定例会やウェビナーの効果が確認出来て良かった。ご意見を踏まえて改善し、来年度も継続していただきたい。
- 情報共有については、発動時・受信時それぞれが効果的な方法を模索してほしい。



鳥取大学 三輪 隆史

◆まとめ

- ・令和7年度により使いやすいタイムラインへと改善するため、各機関におけるタイムラインに関する取組状況や改善要望を抽出した。
- ・タイムラインや情報提供システムの更なる活用に向けてタイムライン事務局で改善策を整理し、引き続きブラッシュアップを図る。

・避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合水防訓練の実施

水防技術の向上・伝承及び水防団の士気高揚を図るとともに、「流域治水」への転換の観点を踏まえ、幅広い主体が参加する実践的な訓練により、地域社会全体における防災知識の普及、防災意識の向上、災害対処能力の更なる向上を図りました。

■ 開催日時：令和6年5月25日(土) 9:30～11:45

■ 参加機関：38機関

■ 実施場所：日野川右岸(鳥取県米子市古豊千(よなごしこうち)地先)

■ 実施した演習：水防工法訓練、水防工法体験、出水時情報提供訓練、緊急物資輸送訓練、孤立者救助訓練 他

■ 参加者：斉藤国土交通省大臣、平井鳥取県知事、伊木米子市長、伊達境港市長、中田日吉津村長、竹口大山町長、陶山南部町長、森安伯耆町長、
 谷田日野町長、白石江府町長、赤澤議員、湯原議員、舞立議員、藤井議員をはじめ約1,000人(来賓及び一般見学者含む)



・小中学校などと連携した日野川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充

- 令和6年5月30日(木) 米子市立車尾（くずも）小学校において、小学4年生の児童へ向けた出前講座「防災環境学習」を実施しました。
- 今回の学習では、日野川の自然環境について学ぶとともに、車尾小学校区全域が浸水域にあることから、ハザードマップを使って日野川・法勝寺川が氾濫した際の浸水状況や避難先を確認し、「逃げる」ことが重要だと理解してもらいました。
- 児童からは、避難の時にどんなことに注意して逃げるといいか？日野川にはどんな外来種の生物がいるか？などの多くの質問があり、熱心さが伝わってきました。

講義の様子



・排水計画に基づく排水訓練等の実施及び参加

- 「災害時の応急対策に関する協定」の締結協力事業者を対象に、災害対策機械の操作訓練を実施し、操作の習熟度向上を図る。

災害対策機械訓練状況(令和6年6月19日)

照明車訓練(令和6年度)



排水ポンプ車訓練(令和6年度)



2. 令和7年度の主な取組予定

1. 水防資機材等の整備とその情報共有
2. 日野川水害タイムライン検討会
3. 避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合水防訓練の実施
4. 気象キャスターによるマイ・タイムライン講座での水害(防災)教育の拡充
5. プッシュ型の洪水予報等の情報発信
6. 排水ポンプ車の操作訓練等の実施及び参加
7. 小中学校などと連携した日野川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充
8. 住民を対象とした、出前講座・水防に係る説明会の実施